

<p style="text-align: center;">地域創生工学研究 (Projects for Regional Revitalization)</p>	<p style="text-align: center;">1 年・通年・10 単位・選択 システム創成工学専攻 情報システムコース 担当 地域創生工学研究担当教員</p>	
	<p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-2 (70%), C-1 (15%), D-1 (15%)</p>	<p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕 g, i, f, d-2a, e, h</p>
<p>〔教育方法等〕 概要： 地域の企業や自治体との共同研究を通じて、地域創生に関連する研究活動を行う。専攻科教育の主なねらいである、目標設定から達成まで一貫して遂行できる研究開発能力を持つ技術者の育成を目標に、本科 5 年次の卒業研究の経験を基礎に、より高度な個別研究を行うために、目標設定から達成まで一貫して遂行できる研究開発能力の基礎力を育成するとともに、地域が抱える問題に関心を持ち、それを解決するための課題解決力も養成する。</p> <p>授業の進め方と授業内容・方法： 研究テーマを設定し、特別研究の基礎となる研究を行う。研究テーマは、地域（主に奈良県）の企業や自治体が抱える問題を解決する課題とすること。成果を研究発表要旨にまとめ、研究発表会で発表を行う。これらを通して、論文作成、プレゼンテーション、資料作成の基礎力を育成するとともに、コンピューター利用技術を養成する。合わせて、地域の問題に関心を払う力も養成する。</p> <p>注意点： 関連科目 特別研究、システムデザイン演習、研究力向上セミナーⅠ、Ⅱ（情報系）、本科の卒業研究</p> <p>学習指針 与えられた条件下で研究目的を達成するための研究計画を立てる。国内外の関連した文献を調査し、研究の位置づけを行う。結果の解析、整理においては、自ら考えてオリジナリティーを出すよう努力する。データ解析、図表作成、参考資料の検索においては積極的にコンピューターを利用し、その技術を習得すること。さらに、地域創生の観点からは、自身の研究が地域創生においてどのように役立つのかも考えながら研究に取り組むこと。</p> <p>自己学習 自己の研究に関わる各種参考書や国内外の論文を精読すること。</p>		
<p>〔教科書〕 特になし</p> <p>〔補助教材・参考書〕 研究テーマに関連した各種参考書および国内外の文献。</p>		
<p>〔到達目標〕 データ解析法、結果の整理法、表現・発表能力、論文作成能力の基礎力を養うこと。 研究発表会：研究計画を立案し、実験装置を作成し、実験方法を確立するとともに、研究発表要旨に研究成果の概要をまとめ、発表する能力を養うこと。加えて、地域の問題について関心を持ち、その解決に積極的に関わろうとする態度を有すること。</p>		
<p>〔評価割合〕 成績評価は、(1) 研究に対する取り組み (50%)、(2) 研究報告書 (20%)、(3) 研究発表 (30%) の総合評価により行う。</p> <p>(1) については、研究への準備、実施状況を総合的に評価する。</p> <p>(2) については、報告書の内容、文章構成、図表や式の表現等について総合評価する。</p> <p>(3) については、発表準備、発表内容、質疑応答の的確性等について総合評価する。</p> <p>※ 学外の学会発表をもって報告会としてもよい。この場合、予稿を報告書とする。</p>		

授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	ガイダンス	全体のガイダンスを実施後、研究室配属を決定することができる。	
	2 週	研究テーマの決定	指導教員の指導の下、研究テーマを決定することができる。	
	3 週	研究活動の指導	地域（主に奈良県）の企業や自治体が抱える問題を解決することをテーマとした研究活動の中で、以下のような力や姿勢などを身につけることができる。 ①課題を解決するために必要な力 ②情報を収集し、活用する力 ③スケジュールなどを自己管理する力 ④主体的に研究に関わる姿勢 ⑤責任感を持って研究に関わる態度 ⑥研究を円滑に進めるためのコミュニケーションスキル ⑦研究成果を効果的に発信する力 ⑧論理的な思考力 ⑨日本語で論理的な文章をまとめる力	
	4 週			
	5 週			
	6 週			
	7 週			
	8 週			
	9 週			
	10 週			
	11 週			
	12 週			
	13 週			
	14 週			
	15 週			
後期	1 週	研究活動の指導	地域（主に奈良県）の企業や自治体が抱える問題を解決することをテーマとした研究活動の中で、以下のような力や姿勢などを身につけることができる。 ①課題を解決するために必要な力 ②情報を収集し、活用する力 ③スケジュールなどを自己管理する力 ④主体的に研究に関わる姿勢 ⑤責任感を持って研究に関わる態度 ⑥研究を円滑に進めるためのコミュニケーションスキル ⑦研究成果を効果的に発信する力 ⑧論理的な思考力 ⑨日本語で論理的な文章をまとめる力	
	2 週			
	3 週			
	4 週			
	5 週			
	6 週			
	7 週			
	8 週			
	9 週			
	10 週			
	11 週			
	12 週			
	13 週			
	14 週			
	15 週			

* 4 : 完全に達成した, 3 : ほぼ達成した, 2 : やや達成できた, 1 : ほとんど達成できなかった, 0 : まったく達成できなかった.